

平成25年度 総務課 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
予算の適正な執行に努め、透明性のある経営を行います。	法人全体の経費削減に向けて、定期的に予算の執行状況の確認、報告を行います。	法人運営においては5月の監事監査会をはじめ、年間で4回の役員会を開催し、予算の執行状況の確認、諸規定の改正、役員改選等を行いました。また、委託業務については管理宿直・清掃業務等の見直しを行い、業務の効率化と安定化を図りました。 人事管理においては、人事考課制度の具体的な運用について人事コンサルタントと連携を図り、年11回の検討に加え、全職員を対象とした説明会を2回開催しました。職員採用については学校訪問、当事業団ホームページの活用、必要に応じた説明会の開催により、幅広く人材を確保することができました。また、役職、経験、年齢に応じた研修計画を作成し内外の研修会に参加しました。 利用ニーズに合わせ事業拡大を図るため、蒔田デイサービスセンターの増築工事を行いました。事業を運営しながらの工事となりましたが、大きな問題なく完了しました。温冷配膳車の入れ替えにおいては、プロジェクトチームを組織し、効率的かつ効果的に行うことができました。
	委託業務等について、内容の見直しを行います。	
適正な職員採用・配置・人材育成に努めます。	人事考課制度の試験運用を開始します。	
	人材確保に向け、学校訪問、求人広告、職場説明会等を行います。	
	計画的な職員採用及び適材適所な人事配置に努めます。	
	経験年数に応じた計画的な外部研修の活用及び内部研修制度を確立します。	
建物及び建物設備の管理を見直します。	建物及び建物設備に関して、修繕及び機器更新の計画に基づき実行します。	
	整備内容により、各種補助金等の交付申請について検討します。	
積極的な広報活動を行います。	事業団のホームページを開設し、様々な情報を定期的に更新しながら情報発信します。	

平成25年度 特別養護老人ホーム偕楽苑 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
職員全体で、コスト意識を持ち、経営の安定を図ります。	安定して利用率98%以上を維持するよう努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者の受け入れについては、円滑に入所を進め、入所利用率は96.2%でした。入所申込者数は増加しており、待機者数は昨年末より約20名増え178名となりました。 ・虐待が疑われるケースを2名受け入れ、また、在宅支援困難となり、行政との連携のもと緊急ケース会議を経て入所となったケースが複数ありました。 ・物品の管理、情報の共有、意識の啓発に取り組むコスト削減に努めました。
	入退所の期間を短縮し、入所待機者の早期解消に努めます。	
	各種加算の要件を満たすよう、人員配置・有資格職員の育成・配置を維持します。	
	居宅介護支援事業所、包括支援センター、福祉事務所との連携を深め、今後増加が予想される独居高齢者や支援困難ケースの受け入れ強化を図ります。	
職員の資質向上を図り、人材の定着を図ります。	省エネに努め、備品・消耗品の管理を徹底し、コスト削減を実現します。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員に対しては、介護主任を中心に、育成チームとプログラムを作り、助言・指導、介護研修を行いました。 ・全職員には、感染症、事故防止、看取り介護、身体拘束に関する研修を実施しスキルアップを図りました。 ・認知症者への対応については、認知症サポーター養成講座を3度実施するなど、認知症ケアの質の向上に取り組みました。
	新規採用職員の受け入れ体制を整備し、一貫した職員教育を確立します。	
	外部・内部研修を活用し、資質向上と実践力へつなげます。	
	職員の資格取得を支援し、施設としてのバックアップと評価を行います。	
	職員の業務に適した、人事考課制度を検討し、「意欲」や「やりがい」につなげます。	
	災害に対する研修および訓練を強化します。(施設設備の取り扱い、復旧作業等の把握)	
「認知症サポーター」の資格取得を推進し、認知症ケアに対するサービスの充実を図ります。		
個別ニーズを把握し、質の高い介護サービスの提供を行います。	体調を考慮した外出やレク活動に、ご家族も含めた参加機会を増やし、生活に潤いを持たせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会に、ご家族に参加いただくなど内容の見直しと充実を図りました。回転すしや居酒屋等への外出、秩父夜祭や近隣神社の新年行事への参加等、外出の機会を多く持ち、ご家族との交流や地域との交流を促進しました。 ・音楽会や陶芸教室、カレー作りなど重度の方が楽しめるプログラムや個人の経験や趣味を生かした活動を行いました。また、なかよし会(自治会議)で自身の生活や希望について考えていただき、実現できるよう支援しました。 ・温冷配膳車の入替を機会に、食生活の充実に向けて全面的に検討を行いました。選択食やデザートバイキング等を行い、個人の嗜好にできる限り応えました。 ・職種間の連携と日中活動の充実により、身体機能を維持し、元気で笑顔あふれる生活と状態に応じての自立した生活を実現しました。
	委託業者と連携し、利用者個人のニーズに沿った、行事食やイベント食を考慮提供します。	
	日常生活動作～機能回復訓練を日常的に行い、生活の質を保てるよう個別に援助します。	
	温冷配膳車、入浴設備等の入れ替えの検討、選定に取り組みます。	

短期入所生活介護 偕楽苑 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
職員全体で、コスト意識を持ち、経営の安定を図ります。	安定して利用率85%以上を目指します。	<p>・緊急、支援困難ケース等に迅速に対応し、積極的に受け入れを行いました。また、ケアマネージャーへの情報提供や効率的な空床管理により利用率が向上しました。平成25年度の利用実績は、1日平均19.1名(利用率95.7%)で、前年比126%でした。</p> <p>・胃ろう造設者、褥瘡処置者など医療ニーズのある方や、徘徊・介護拒否等のある重度認知症者も積極的に受け入れました。また、2月の秩父地域での大雪の際には、孤立地域からの緊急受け入れを行い、多岐にわたるニーズに迅速かつ的確に対応しました。</p>
	定期利用者の確保と、新規利用者の積極的な受け入れを行なえる体制をつくりまします。	
	各種加算の要件を満たすよう、人員配置・有資格職員の育成・配置を維持します。	
	居宅介護支援事業所、包括支援センター、福祉事務所との連携を深め、緊急な利用や支援困難ケースの受け入れ強化を図ります。	
	省エネに努め、備品・消耗品の管理を徹底し、コスト削減を実現します。	
今後の新規事業として、「短期入所専用棟」の立ち上げを推進する。		
幅広い視野を持ち、利用者の在宅生活を総合的に支援します。	在宅生活が困難な重度の要介護者、重度認知症の方の受け入れを行なえるように、各種研修や認知症資格の取得に努めます。	<p>・認知症ケアに関しては、専門のセクションを設け、知識や介護技術の向上に努めました。また、胃ろうの取扱いや褥瘡処置の方法など事前に情報を収集し、専門職間で共有することで、安心して利用していただきました。特に医療ニーズの高い方については、ケアマネージャー、他のサービス事業所とも状態の変化等について情報交換をし個別ケアの実践に努めました。</p>
	ショート利用者の利用環境、提供場所を区別し、差別化を図り、きめ細かいサービス提供に努めます。	
	利用者個人のニーズに沿った、行事食やイベント食を考え提供します。	
短期入所に特化したサービス提供と地域連携を図ります。	利用者、家族、担当ケアマネージャーとの関係を深め、信頼関係を構築します。	<p>・幅広いニーズに的確に対応し、ご家族やケアマネージャーとの信頼関係、さらには地域との信頼関係を構築することができた結果、利用率の向上に繋がりました。</p>
	他介護保険事業所と連携し、利用者の総合的なサービス提供や情報共有を図り、在宅生活を支えています。	
	感染症については、施設内研修も含めて十分留意し、円滑にサービス利用が行えるよう対策を図ります。	

平成25年度 養護老人ホーム長寿荘 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
<p>入所者一人ひとりをしっかりと見つめ、その思いを共有することで、夢や願いがかない「喜び」、「幸せ」を感じることができる暮らしの場を利用者とともに創造します。</p>	<p>行事、レクリエーション、趣味活動(手芸、農作業等)、個別外出等に取り組み、入所者の楽しみ、喜びが広がるよう努めます。</p>	<p>季節料理教室、朝顔の栽培、書き初め、農協主催のかかし祭り出展のための作品づくりなど入所者の生きがい作りに取り組みました。月に1回自治会議を開催し、全入所者が参加できるよう配慮しながら、一人ひとりの声をしっかりと受け止め施設運営に反映させました。健康面では、嘱託医及び他の医療機関と密接に連携を持ち、入所者に「健康管理」について自己啓発を促していきました。年2回処遇計画を更新し、その都度カンファレンスを行いました。生活全般にわたり、主体的に生活を送っていただくために、当番制で食堂や浴室等、生活環境面での役割を担ってもらい、報償費を支給するとともに慰労会を行いました。</p>
	<p>自治会議の開催等を通じ入所者の声に耳を傾けることで、入所者の声を反映した主体的な生活を実現します。</p>	
	<p>小さな体調変化をしっかりと観察し、嘱託医を中心とした医療機関とも連携を持つことにより入所者の健康管理に努めます。</p>	
	<p>身体状況の把握、生活環境の整備、事故防止策の分析などに取り組み、安心で安全な生活の場を構築します。</p>	
	<p>利用者の苑内作業を促進し、働くことの喜びと共同生活の喜びを感じることができ、生きがいが広がるよう支援します。</p>	
<p>入所者の喜怒哀楽に正面から向かい、入所者の思いやそのおかれた状況を鑑みて、その人らしい生活の実現に努めます。</p>		
<p>ご家族や地域との繋がりを大切することで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。また、施設機能を地域に還元することで、地域福祉の向上に寄与します。</p>	<p>ご家族向けの施設だよりの発行や日頃の生活状況の報告、ご家族との相談の実施等により、ご家族との繋がりが深まるよう努めます。</p>	<p>年2回の施設だよりの発行や、細目に入所者の生活状況を家族に報告するなどして、家族関係が深まるよう努めました。また、民踊、行事への慰問などのボランティア、実習生等の受け入れ、小学校の運動会、歌舞伎見学、秩父夜祭宵宮、清心会ふらわあ祭り、特別支援学校文化祭などへの参加を通じて、多くの方との交流の機会を持つことができました。虐待や帰るべき家が無いなどの緊急ケースや、大雪による避難者など行政からの相談に迅速に対応し、入所受け入れを行いました。入居率は85%であったが、措置機関(秩父市、皆野町、長瀬町、狭山市、台東区)と連携を図り、入所や支援の相談を行ってきた。</p>
	<p>ボランティア、慰問等の受入、地域行事への参加を通じて地域交流、社会参加の機会が持てるよう努めます。</p>	
	<p>秩父市をはじめ、入所措置の実施機関である市区町村との円滑な連携に努め、社会資源の一つとして最大限地域社会に貢献します。</p>	
<p>専門機関、専門職としての誇りを持ち、広い視野のもと、改善改革に取り組み、謙虚に実践の向上に努めます。</p>	<p>職員間、職種間の情報共有をしっかりと行い、チームケアを実践することで、質の高いケアの実現に努めます。</p>	<p>1日2回の申し送りによる情報共有のほか、他事業所の職員の意見や情報を取り入れ、入所者へのケアを行いました。また、各種研修にも参加し、養護老人ホームの現状や将来的な見通しについて研究を行いました。</p>
	<p>常に実践の振り返りを行い、新たなニーズに沿った実践の改善に努めます。</p>	
	<p>長寿荘利用者の喜びを、ほのぼのマイタウン全体、または、家族や地域の方とともに共有し、分かち合えるよう努めます。</p>	

平成25年度 蒔田デイサービスセンター 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。	利用率の向上(80%以上)を図ると共に、諸経費のコスト削減に努めます。	利用者の積極的な受け入れにより、新規利用者29名(前年比9名増)、延べ利用者数6,934人(前年比757人増)、定員25名での利用率が91%となりました。11月からは、更なる事業拡大を図るため、機能訓練室と事務室の増築工事が始まり、現行のサービス提供にできる限り支障がないように進めることができました。業務内容においても、利用者に合わせたタイムテーブルに見直し、円滑に業務を行うことが出来ました。
	在宅生活が可能な限り継続できるよう支援を行い、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等との連携を図ります。	
	早番、遅番などの利用状況に合わせた勤務体制により、効率的な送迎等を行いサービス提供時間を確保します。	
介護のプロとして質の高いサービスを提供します。	毎月定期的に研修等を行い、専門知識を高め介護力の向上を図ります。	毎月定期的に研修を行い、介護力の向上を図りました。また、一日の業務の役割分担を明確にし他職種との連携を図りました。職員に介護福祉士の資格取得を勧め、資格受験者をサポートした結果2名が合格することができました。サービスの向上と魅力づくりに努め、給食委託業者の協力のもと、おやつバイキングなどを実施しました。
	ケアプランに基づく個別援助サービスを提供し、運動器・生活機能向上など介護予防に努めます。	
	介護職員にフロアリーダーを定め、介護職員、看護職員、相談員管理者等との連携を密に図ります。	
	外出レク、工作レク、物品管理等に係りを定め、職員の役割と責任分担を明確に定めます。	
	介護福祉士、介護支援専門員など、資格取得を目指す受験者をサポートします。	
地域支援や地域交流を積極的に図り親しまれるアットホームなサービス提供します。	地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を果たします。	保育園との交流会やお祭り見物など地域行事への参加、また地元ボランティア団体による民謡や津軽三味線などを披露していただき、デイサービスの利用者だけではなく借楽苑や長寿荘の入所者の方々にも楽しんで頂きました。
	小学校や幼稚園・保育所との交流を図り、世代間のコミュニケーションの機会を提供します。	
	お花見外出や年中行事など、季節感を感じることができるレクリエーションを行います。	
	地域のお祭りや催し物など、地域行事に参加し地域交流を図ります。	
	広報誌を定期的に発行し、家族への利用状況の報告を行います。	

平成25年度 高篠デイサービスセンター 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。	利用率の向上(80%以上)を図ると共に、諸経費のコスト削減に努めます。	平成23、24年度と利用率80%以上を達成し、10月より定員を25名から30名に拡大しました。それにより年間の利用率は71.5%と前年より低下しましたが、様々な利用ニーズに応えられるよう居宅介護支援事業者、地域包括支援センターと連携を図りました。業務内容については、外出係り、工作係りを役割分担し、レクリエーション活動の充実に努めました。
	在宅生活が可能な限り継続できるよう支援を行い、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等との連携を図ります。	
	早番、遅番などの利用状況に合わせた勤務体制により、効率的な送迎等を行いサービス提供時間を確保します。	
介護のプロとして質の高いサービスを提供します。	毎月定期的に研修等を行い、専門知識を高め介護力の向上を図ります。	感染症や事故防止対策等の内部研修を行うとともに、新たに胃ろう造設者の受け入れを行うために研修を実施しました。また、職員に介護福祉士の資格取得を勧め、資格受験者をサポートした結果1名が合格することができました。サービスの向上と魅力づくりに努め、給食委託業者の協力のもと、おやつバイキングやバーベキューなどを実施しました。
	ケアプランに基づく個別援助サービスを提供し、運動器・生活機能向上など介護予防に努めます。	
	介護職員にフロアリーダーを定め、介護職員、看護職員、相談員管理者等との連携を密に図ります。	
	外出レク、工作レク、物品管理等に係りを定め、職員の役割と責任分担を明確に定めます。	
	介護福祉士、介護支援専門員など、資格取得を目指す受験者をサポートします。	
地域支援や地域交流を積極的に図り親しまれるアットホームなサービス提供します。	地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を果たします。	地域交流として高篠小学校の社会科見学受け入れ、札所1番での施餓鬼会に参加しました。また、地域行事への参加として、農協主催のかかし祭りにレクリエーション活動での創作品を出展し金賞を受賞しました。また、秩父市緑のカーテンコンクールでは優秀賞を受賞しました。
	小学校や幼稚園・保育所との交流を図り、世代間のコミュニケーションの機会を提供します。	
	お花見外出や年中行事など、季節感を感じることができるレクリエーションを行います。	
	地域のお祭りや催し物など、地域行事に参加し地域交流を図ります。	
	広報誌を定期的に発行し、家族への利用状況の報告を行います。	

平成25年度 上吉田デイサービスセンター 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
<p>共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。</p>	<p>利用率の向上(80%以上)を図ると共に、諸経費のコスト削減に努めます。</p> <p>在宅生活が可能な限り継続できるよう支援を行い、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等との連携を図ります。</p> <p>早番、遅番などの利用状況に合わせた勤務体制により、効率的な送迎等を行いサービス提供時間を確保します。</p>	<p>利用者の積極的な受け入れにより、延べ利用者数2354人(前年比606人増)、定員10名での利用率が82%となりました。</p> <p>サービス提供においては、家庭的な雰囲気のもと個別ケアの提供に努め、小規模型デイサービスの機能を発揮しました。</p>
<p>介護のプロとして質の高いサービスを提供します。</p>	<p>毎月定期的に研修等を行い、専門知識を高め介護力の向上を図ります。</p> <p>ケアプランに基づく個別援助サービスを提供し、運動器・生活機能向上など介護予防に努めます。</p> <p>介護職員にフロアリーダーを定め、介護職員、看護職員、相談員管理者等との連携を密に図ります。</p> <p>外出レク、工作レク、物品管理等に係りを定め、職員の役割と責任分担を明確に定めます。</p> <p>介護福祉士、介護支援専門員など、資格取得を目指す受験者をサポートします。</p>	<p>研修計画のとおり、感染症や事故防止対策等の内部研修を実施しました。</p> <p>サービスの向上と魅力づくりに努め、給食委託業者と協働しおやつバイキングなど食事に関する行事を多く取り入れました。</p>
<p>地域支援や地域交流を積極的に図り親しまれるアットホームなサービス提供します。</p>	<p>地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を果たします。</p> <p>小学校や幼稚園・保育所との交流を図り、世代間のコミュニケーションの機会を提供します。</p> <p>お花見外出や年中行事など、季節感を感じることができるレクリエーションを行います。</p> <p>地域のお祭りや催し物など、地域行事に参加し地域交流を図ります。</p> <p>広報誌を定期的に発行し、家族への利用状況の報告を行います。</p>	<p>地域的な特色を生かし、吉田地域に密着した外出行事(いちご狩り、初詣、節分祭)を企画し実施しました。また、吉田文化祭、上吉田地区作品展、かかし祭りにレクリエーション活動での創作品を出展しました。</p>

平成25年度 高齢者生活支援ハウス吉祥苑 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
<p>共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。</p>	<p>物品等の無駄遣いに注意し、節約に努めます。</p>	<p>今年度は、新規入居者3名、退去者が2名(老人ホームへの入所)おり、年間の入居率は77%でした。 施設設備面では、IHコンロや入浴設備に不具合が生じ修理を行いました。 介護サービスを利用している入居者には、ケアマネージャー、サービス事業者と連携し、自立した生活が送れるよう支援しました。 また、デイサービスと合同で食事イベントの開催や買い物等を企画し実施しました。</p>
	<p>施設内の環境に配慮し、危険個所や破損個所等の早期発見や改善に努めます。</p>	
	<p>入居率の安定と向上(80%)を図ります。</p>	
<p>生活支援員としての知識や技術を習得し、組織内で個々の力量を十分に発揮します。</p>	<p>入居者の生活を支える介護サービス、社会資源の把握に努めます。</p>	
	<p>職員間(生活支援員、夜間当直者等)との連携を密にし、情報や課題の共有化を図ります。</p>	
	<p>生活支援に資する自身の知識や能力を把握し、業務に反映していきます。</p>	
<p>高齢者生活支援ハウスに期待される役割を自覚し、安心・安全な生活を実現します。</p>	<p>公的機関(地域包括支援センター等)や、介護サービス事業者等との関わりを理解し連携を図ります。</p>	
	<p>入居者個々の要望やニーズを把握し、生活上の課題解決に努めます。</p>	
	<p>職員間(生活支援員、夜間当直者等)との連携を密にし、情報や課題の共有化を図ります。</p>	

平成25年度 秩父市社会福祉事業団居宅介護支援事業所 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
<p>積極的なケースの受け入れ、地域連携の強化を行います。</p>	<p>140件以上の支援者数を目指します。</p> <p>介護保険委託業務の認定調査を実施します。</p> <p>介護保険委託業務の予防支援委託を積極的に受け入れます。</p> <p>困難、緊急ケースも積極的に受け入れ、その人らしい生活を実現できるように支援します。</p> <p>認定審査会への出席を継続して行います。</p> <p>市町村、包括支援センター、サービス事業所、介護保険事業所、医療機関との連携強化・情報交換を図ります。</p>	<p>当事業所で担当させていただいた方に対し、その人らしい生活の実現を目標としたケアプランを作成しました。</p> <p>行政機関、市内医療機関、地域包括支援センターと連携を図り、24時間の連絡・相談体制のもと支援困難ケース等の受け入れも積極的に行い90名の新規利用相談を受入れました。</p> <p>ケアプラン作成者数は、平成25年12月で140件を超え、前年比225名増加しました。</p>
<p>専門的知識を深め、サービスの質の向上を図ります。</p>	<p>地域サービスや新規事業所、インフォーマルサービスを把握することで事業の幅を増やします。</p> <p>介護支援専門員研修や、県・市町村・事業所の主催する研修へ積極的に参加します。</p> <p>他の居宅事業所との連携を図り、加算要件等における基準を正確に把握するように努めます。</p>	<p>秩父市内において新規事業者の参入が多く、サービス内容等の把握を的確に行いながら、他事業所との連携を図りました。</p> <p>また、研修については計画的に介護支援専門員研修に参加し、「特定事業所加算Ⅱ」の算定要件になっている主任介護支援専門員研修も受講することができました。</p> <p>その他、秩父市、横瀬町、皆野町地域包括支援センター主催の研修にも参加しました。</p>
<p>支援者(支援者家族)や地域の方との連携や交流を深めます。</p>	<p>民生委員や在宅支援員との積極的な連携を強化します。</p> <p>高齢者相談支援センター事業として、民生委員への研修会を年3回実施します。</p> <p>広報誌の作成を行い、事業所の周知を図ります。</p>	<p>家族との連携では、特に独居高齢者で家族や親戚等が遠方に住んでいるケースであっても綿密に連携をとるように努め、ご本人・ご家族から感謝の言葉をいただく機会がありました。</p> <p>地域とのネットワークづくりでは、民生委員との交流会を2回開催しました。(3回目は大雪のため中止)</p> <p>広報誌については、年2回支援者や各事業所に発行し、事業所の特色を情報発信しました。</p>

平成25年度 秩父市ヘルパーステーション 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
支援者の積極的な受け入れを行い、安定した事業経営を行います。	訪問利用率の向上を図り、利用者支援の推進に努める。1ヶ月の支援時間数750時間以上を目指します。	大滝、吉田地域の利用者、緊急・困難ケースの受け入れを行うとともに、日曜日や年末の訪問ニーズに対応しました。また、居宅介護支援事業所との連携に努め、10月には1ヶ月の支援時間が750時間を超えることができました。しかし、冬季に入り入院や施設入所等で訪問時間が減少しました。
	利用者の自立度に合わせたサービスを提供し、生活の質が向上するように努めます。	
	困難ケースや緊急ケースへの受け入れを積極的に行います。	
サービスの質を向上させ、職員の資質向上を図ります。	地域の医療・福祉・介護に関する研修や、ホームヘルパー協会主催の研修に参加します。	毎月、ヘルパーミーティングを開催し、利用者の支援内容の確認や内部研修を実施しました。また、ホームヘルパーの資質向上のため、介護福祉士資格取得に向けた勉強会を実施しました。その他、福祉関係機関から実習生の受け入れを行いました。
	特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・デイサービスへの体験研修を実施します。	
	利用者の健康状態等の報告・連絡・相談の周知徹底を図ります。	
	月に1回ミーティングを開催し事例検討を実施します。	
	特定高齢者・保険外サービスの実施に向けて準備・検討を行います。	
	特定事業所加算Ⅱの算定要件の確認・検討を行います。	
利用者(利用者家族)や地域機関との連携を強化します。	関係機関との情報交換等を行い、連携を強化し課題の解決を図ります。	秩父地域のヘルパー連絡会や親睦会に参加し情報交換を行いました。2月の大雪時には、安否確認ができない一人暮らしの利用者宅を訪問し、食料や体調確認を行い、ご家族やケアマネージャーと連携し支援を行いました。
	利用者又は家族に対し、支援内容を丁寧に説明し共通認識を持つことで信頼関係を構築します。	
	広報誌を作成することで、利用者の拡充を図ります。	

平成25年度 秩父市重度心身障がい者通所施設ふあいん・ユー 事業報告書

事業の概要

事業計画	主な事業の内容	主な事業の実績
関係機関と連携し効率的な運営を行います。	<p>秩父市(障がい者福祉課)をはじめ、秩父特別支援学校、相談支援機関等と円滑な連携を図ります。</p> <p>車輦、照明、冷暖房など効率的に使用し、コスト削減に努めます。</p>	<p>秩父市と連携を図り、新規利用者の相談、送迎車輦故障時の対応、大雪による施設被害の報告、相談などを行いました。その他、就労支援体験の学生の受け入れをしました。</p> <p>また、利用者の障害特性の理解を深めるために障害支援研修会への参加や、看護師による気管切開部、呼吸器の取り扱い、胃瘻についての勉強会を実施しました。</p> <p>関係機関(秩父市障がい者福祉課、相談支援事業所)及びご家族との信頼関係を深めるため、家族懇談会を開催し、利用時の詳細報告や、ご家族の相談に応じました。</p> <p>レクリエーション活動については、季節に応じた外出や、個性に合わせた創作活動などを行いました。</p>
障害等の特性を理解し安全なサービスを提供します。	<p>保護者や主治医と連携しながら看護師による医療ケアを提供し、日常の健康管理を行います。</p> <p>障害支援に関する研修会に参加し知識の向上を図るとともに、最新の動向を理解していきます。</p> <p>定期的に内部勉強会を開催し、障害等の知識を深めます。</p> <p>ボランティアの受け入れを行い、職員以外の人との交流を図ります。</p>	
相談に応じながら信頼関係を深めます。	<p>利用者の要望や体調を考慮(配慮)しながら、季節に応じた外出や地域行事に参加します。</p> <p>提供したサービスに関する利用者、家族からの相談・苦情には迅速かつ適切に対応します。</p> <p>定期的に広報誌「ふあいん通信」を発行し、配布します。</p>	